

ヤマダ総合公認会計士事務所
仕訳の虎の巻



仕訳の虎の巻 目次



1. 貸借対照表 (Balance Sheet・B／S) の科目一覧	1
2. 損益計算書 (Profit and Loss Statement・P／L) の科目一覧	2
3. 取引から仕訳を見よう	
・ 現金や預金に関する仕訳	3
・ 給与、賞与、退職金に関する仕訳	5
・ 商品の売上、回収に関する仕訳	7
・ 商品の仕入、支払に関する仕訳	9
・ 資産に関する仕訳	10
・ 経費に関する仕訳	13
・ 決算に関する仕訳	15
・ 手形に関する仕訳	19
・ 金銭の貸借に関する仕訳	20
4. 科目から仕訳を見よう	
① 貸借対照表の科目	
資産の部	
【流動資産】	
・ 現金、当座預金、普通預金、定期預金	21
・ 受取手形、売掛金、有価証券、未収入金	22
・ 商品、原材料、貯蔵品、製品、仕掛品	23
・ 前渡金、短期貸付金、仮払金、仮払消費税	24
・ 前払費用、立替金、貸倒引当金	25
【固定資産】	
・ 建物、建物付属設備、構築物、機械装置	26
・ 車両運搬具、工具器具備品、土地、建設仮勘定	27
・ 営業権等、電話加入権、出資金、敷金、差入保証金	28
・ 長期貸付金、長期前払費用、創立費、開業費	29
・ 開発費、試験研究費	30
負債の部	
【流動負債】	
・ 支払手形、短期借入金、未払費用、預り金	31
・ 未払法人税等、賞与引当金、未払消費税、買掛金	32
・ 未払金、前受金、仮受金、未払配当金	33
・ 割引手形、仮受消費税	34
【固定負債】	
・ 長期借入金	35

資本の部

【資本金】

・ 資本金	3 5
-------	-----

【法定準備金】

・ 資本準備金、利益準備金	3 5
---------------	-----

【剰余金】

・ 任意積立金、前期繰越利益、未処分利益	3 6
----------------------	-----

②損益計算書の科目

経常(営業)損益

【売上高】

・ 売上高、売上値引	3 7
------------	-----

【売上原価】

・ 期首商品棚卸高、期首製品棚卸高、仕入高、	3 8
------------------------	-----

・ 仕入値引、期末商品棚卸高、期末製品棚卸高	3 9
------------------------	-----

【販管費】

・ 役員報酬、給料手当、雑給、賞与、	4 0
--------------------	-----

・ 退職金、法定福利費、福利厚生費、外注加工費	4 1
-------------------------	-----

・ 旅費交通費、通信費、接待交際費、減価償却費	4 2
-------------------------	-----

・ 地代家賃、支払保険料、修繕費、水道光熱費	4 3
------------------------	-----

・ 消耗品費、租税公課、荷造運賃、事務用品費	4 4
------------------------	-----

・ 広告宣伝費、支払手数料、諸会費、新聞図書費	4 5
-------------------------	-----

・ 貸倒引当金繰入、リース料、車両費、会議費、支払報酬	4 6
-----------------------------	-----

・ 寄附金、賞与引当金繰入、貸倒損失、雑費	4 7
-----------------------	-----

営業外損益

【営業外収益】

・ 受取利息、受取賃貸料、受取配当金、為替差益、仕入割引、雑収入	4 8
----------------------------------	-----

【営業外費用】

・ 支払利息・割引料、売上割引、為替差損、雑損失	5 0
--------------------------	-----

特別損益

【特別利益】

・ 固定資産売却益、貸倒引当金戻入益、賞与引当金戻入益、	5 1
------------------------------	-----

【特別損失】

・ 固定資産売却損	5 2
-----------	-----

【法人税等】

・ 法人税等	5 2
--------	-----

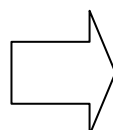
【未処分利益増減】

・ 前期繰越利益、中間配当金、利益準備金積立額	5 3
-------------------------	-----

1. 貸借対照表 (Balance Sheet・B/S) の科目一覧

資産の部		負債の部			
【流動資産】		【流動負債】			
(当座資産)		支払手形			買掛金
現金	当座預金	短期借入金	未払費用		未払
普通預金	定期預金	預り金	未払法人税等		前受金
受取手形	売掛金	賞与引当金	未払消費税		仮受金
有価証券	未収入金	【固定負債】	長期借入金		未払配当金
現金過不足					割引手形
(棚卸資産)					仮受消費税
商品	製品				
原材料	仕掛品				
貯蔵品					
(他流動資産)		資本の部			
前渡金	前払費用	【資本金】			
短期貸付金	立替金	資本金			
仮払金	貸倒引当金	【法定準備金】			
仮払消費税		資本準備金		利益準備金	
【固定資産】		【剰余金】			
(有形固定資産)		任意積立金		前期繰越利益	
建物	建物附属設備	未処分利益			
構築物	機械装置				
車両運搬具	工具器具備品				
土地	建設仮勘定				
(無形固定資産)					
営業権等	電話加入権				
(投資等)					
出資金	敷金				
差入保証金	長期貸付金				
長期前払費用					
【繰延資産】					
創立費	開業費				
開発費	試験研究費				

$$\boxed{\text{資産}} = \boxed{\text{負債}} + \boxed{\text{資本}}$$



資産	負債
	資本

○貸借対照表

2. 損益計算書 (Profit and Loss Statement・P/L) の科目一覧

経常(営業)損益

【売上高】

売上高

売上値引

【売上原価】

期首商品棚卸高

期首製品棚卸高

仕入値引

製造原価

期末製品棚卸高

仕入高

期末商品棚卸高

【販管費】

役員報酬

給料賃金

雑給

賞与

退職金

法定福利費

福利厚生費

外注加工費

旅費交通費

通信費

接待交際費

減価償却費

地代家賃

支払保険料

修繕費

水道光熱費

消耗品費

租税公課

荷造運賃

事務用品費

広告宣伝費

支払手数料

諸会費

新聞図書費

貸倒引当金繰入

リース料

車両費

会議費

支払報酬

寄附金

賞与引当金繰入

貸倒損失

雑費

営業外損益

【営業外収益】

受取利息

受取配当金

仕入割引

受取賃借料

為替差益

雑収入

【営業外費用】

支払利息・割引料

売上割引

為替差損

雑損失

特別損益

【特別利益】

固定資産売却益

貸倒引当金戻入益

賞与引当金戻入益

【特別損失】

固定資産売却損

【法人税等】

法人税等

【未処分利益増減】

前期繰越利益

中間配当金

利益準備金積立額

当期末処分利益



収益総額	－	費用総額	=	当期純利益
------	---	------	---	-------

費用	+	当期純利益	=	収益
----	---	-------	---	----

⇒

費用	－	当期純利益	=	収益
----	---	-------	---	----

○損益計算書



3. 取引から仕訳を見よう

・現金や預金に関する仕訳

? 普通預金から現金を引き出した

普通預金から現金 30,000 円を引き出し、現金を補充した。

A 現金 30,000 普通預金 30,000

? 定期預金が満期になった

定期預金 1,000,000 が満期となり、利息 40,000 円（20%[国税 15%・地方税 5%]控除前）とともに、当座預金に入金した。

A 当座預金 1,032,000 定期預金 1,000,000
 法人税等 8,000 受取利息 40,000

? 定期預金が満期になった（元本書き換え）

定期預金 500,000 円が満期となり、元本は書き換え、税引後の利息 24,000 円は現金で受取った。

A 定期預金 500,000 定期預金 500,000
 現金 24,000 受取利息 30,000
 法人税等 6,000

? 商品を現金で販売した

商品を 25,000 円にて現金で販売した。

A 現金 25,000 売上高 25,000

? 売掛金を小切手で受け取り、普通預金に入金した

売掛金 200,000 円を小切手で受け取り、普通預金に入金した。

A 普通預金 200,000 売掛金 200,000

? 売掛金が入金された

売掛金 100,000 円が、振込手数料 525 円が差し引かれ、当座預金に入金された。

A 当座預金 99,475 売掛金 100,000
 支払手数料 525



? 得意先の旅費を現金で立て替えた

得意先の旅費を 45,000 円立て替えた。

A 立替金 45,000 現金 45,000

? 上記の立替金を、後日得意先から現金で受け取った

立替金を現金で受け取った。

A 現金 45,000 立替金 45,000

? 現金でボールペンを購入した

ボールペン 10 本を 1,050 円で購入し、現金で支払った。

A 事務用品費 1,050 現金 1,050

? 電気代とガス代が引き落とされた

普通預金から電気代 7,500 円、ガス代 2,500 円が引き落とされた。

A 水道光熱費 10,000 普通預金 10,000





・給与、賞与、退職金に関する仕訳

? 従業員に給与を支給した

従業員の給与 1,000,000 円を、所得税 100,000 円、住民税 80,000 円、雇用保険料 20,000 円、健康保険料 30,000 円、厚生年金保険料 50,000 円を控除して普通預金から支払った。

A	給料手当	1,000,000	普通預金	720,000
			預り金（所得税）	100,000
			預り金（住民税）	80,000
			預り金（健康保険料）	30,000
			預り金（厚生年金保険料）	50,000
			預り金（雇用保険料）	20,000

? 社長に給与を支払った

役員の給与 1,000,000 円を所得税 100,000 円、住民税 80,000 円、健康保険料 30,000 円、厚生年金保険料 50,000 円を控除して普通預金から支払った。

A	役員報酬	1,000,000	普通預金	740,000
			預り金（所得税）	100,000
			預り金（住民税）	80,000
			預り金（健康保険料）	30,000
			預り金（厚生年金保険料）	50,000

? 従業員に賞与を支払った

従業員に賞与 1,000,000 を預り金 100,000 円を控除して当座預金から支払った。

A	賞与	1,000,000	当座預金	900,000
			預り金	100,000

? 日給のアルバイトに給与を普通預金から支給した

日給 8,000 円のアルバイトに給与を支給した。

A	雑給	8,000	普通預金	8,000
----------	----	-------	------	-------

？ 期末に給料の締め後の未払い分を計上した

当社の給料は毎月 20 日締め、月末払いで、支払日に給料を計上している。21 日から末日までの賃金は 200,000 円だった。



A

●期末				
給料手当	200,000	未払費用	200,000	
●翌期首				
未払費用	200,000	給料賃金	200,000	

？ 株主配当金を受け取った

株主配当金 100,000 円のうち、源泉所得税 20,000 円が控除され当座預金に振り込まれた。

A

当座預金	80,000	受取配当金	100,000
法人税等	20,000		





・商品の売上、回収に関する仕訳

? 商品を現金で売上げた

商品 5,500 円を現金で売上げた。

A 現金 5,500 売上高 5,500

? 商品を掛で売上げた

商品 35,000 円を掛で売上げた。

A 売掛金 35,000 売上高 35,000

? 商品が一部破損していたため、値引きした

掛で販売した商品が一部破損していたため、5,000 円値引きした。

A 売上値引 5,000 売掛金 5,000

? 商品の販売にあたり、手付金を受け取った

商品 300,000 円の販売にあたり、手付金 100,000 円を現金で受け取った。

A 現金 100,000 前受金 100,000

? 上記の商品を販売した

上記の商品 300,000 円を掛で販売した。

A 売掛金 200,000 売上高 300,000
 前受金 100,000

? 返品を受け、着払い運賃を支払った

商品 5,000 円の返品を受け、着払い運賃 1,000 円を現金で支払った。

A 売上高 5,000 売掛金 5,000
 荷造運賃 1,000 現金 1,000

? 支払条件が手形の得意先の掛代金を割り引いて小切手で回収した
120 日後に手形支払の約束だった売掛金 500,000 円を 2%で割り引いて
小切手で回収し、当座預金に預けた。



A

売上割引	10,000	売掛金	500,000
当座預金	490,000		

? 売掛金が貸倒れになった
A社の売掛金 150,000 円が貸倒れになった。

A

貸倒損失	150,000	売掛金	150,000
------	---------	-----	---------



・商品の仕入、支払に関する仕訳



① 商品を現金で仕入れた

商品 150,000 円を現金で仕入れた。

A 仕入高 150,000 現金 150,000

？ 商品を掛で仕入れ、引取運賃は現金で支払った

商品 200,000 円を掛けて仕入れ、引取運賃 2,000 円は現金で支払った。

A	仕入高	202,000	買掛金	200,000
			現金	2,000

? 仕入れた商品の一部が品違いのため返品した

仕入れた商品のうち 30,000 円が品違いであったため、返品した。また、その際先方負担の返送料 1,000 円を現金で支払った。

A	買掛金	31,000	仕入高	30,000
			現金	1,000

？ 手形支払の契約だったが、現金で支払ったので割引を受けた

仕入代金 500,000 円を資金に余裕が出たので、2 %の割引を受けて現金で支払った。

A	買掛金	500,000	現金	490,000
			仕入割引	10,000

商品を注文し、代金の一部を支払った

商品を注文して、代金の一部 1,000,000 を手形で支払った。

A 前渡金 1,000,000 支払手形 1,000,000

? 上記の商品を受け入れ、残額を支払った

商品 2,000,000 を受け入れ、残額 1,000,000 円を支払手形で支払った。

A	仕入高	2,000,000	前渡金	1,000,000
			支払手形	1,000,000



? 機械をリース契約で導入した

機械をリース契約で導入した。契約期間は5年間、月間リース料20,000円。契約時点で第1回のリース料と3ヶ月分のリース料を小切手で支払った。また、前払いリース料は最後の3ヶ月分のリース料に充当する。

A	リース料	20,000	当座預金	80,000
	長期前払費用	60,000		

? 下取りに出し、新しい車を購入した

車（帳簿価額500,000円、直接法）を300,000円で下取りし、定価1,400,000円の車を1,100,000円で購入。代金は翌月末払。

A	車輛運搬具	1,400,000	未払金	1,100,000
	固定資産売却損	200,000	車輛運搬具	500,000

? ゴルフクラブの会員権を取得した

ゴルフクラブの会員権を取得し、代金3,500,000円を小切手で支払った。

A	出資金	3,500,000	当座預金	3,500,000
----------	-----	-----------	------	-----------

●減価償却費の計上

? 期末に機械装置の減価償却費を計上した(直接法)

期末(3月末)に11月購入の機械装置1,000,000円の減価償却費を定額法で計上した。
(耐用年数8年、償却率0.125)

A	減価償却費	46,875	機械装置	46,875
	★1,000,000 × 0.9 × 0.125 × 5/12 = 46,875			

●資産の売却

? 固定資産を売却した（売却益）

建物(帳簿価額 400,000 円、直接法)の建物を 480,000 円で売却し、当座預金に入金された。

A	当座預金	480,000	建物	400,000
			固定資産売却益	80,000



? 固定資産を売却した（売却損）

建物（帳簿価額 400,000 円、直接法）の建物を 350,000 円で売却し、当座預金に入金された。

A	当座預金	350,000	建物	400,000
	固定資産売却損	50,000		

●その他

? 信用金庫との取引を開始し、出資金を払いこんだ

信用金庫と取引をはじめる際の出資金として 100,000 円を小切手で支払った。

A	出資金	100,000	当座預金	100,000
----------	-----	---------	------	---------

? 特約店契約を結び、保証金を支払った

特約店契約を結び、保証金 150,000 円を小切手で支払った。

A	差入保証金	150,000	当座預金	150,000
----------	-------	---------	------	---------



・経費に関する仕訳



？電話料金が引き落とされた

普通預金から電話料金 6,500 円が引き落とされた。

A	通信費	6,500	普通預金	6,500
----------	-----	-------	------	-------

？新聞の購読料を支払った

新聞の購読料 4,500 円を現金で支払った。

A 新聞図書費 4,500 現金 4,500

？家賃を支払った

テナントの家賃 100,000 円を現金で支払った。

A 地代家賃 100,000 現金 100,000

？ 台所用洗剤を購入した

台所用洗剤 200 円を購入し、現金で支払った。

A	消耗品費	200	現金	200
----------	------	-----	----	-----

？ 事務用机を購入した（10 万未満）

事務用机 60,000 円を購入し、現金で支払った。

A 事務用品費 60,000 現金 60,000

？ 荷物を宅配便で発送した

荷物を宅郵便 680 円で発送した。宅郵便の料金は現金で支払った。

A	荷造運賃	680	現金	680
----------	------	-----	----	-----

？ 顧問会計事務所に今月の顧問料を支払った

ヤマダ総合会計に今月の顧問料 50,000 円を、普通預金で支払った。

A	支払報酬	50,000	普通預金	45,000
			預り金	5,000



? 得意先と昼食をとった

得意先との会議中に得意先と昼食をとり、現金 3,000 円を支払った。

A 会議費 3,000 現金 3,000

? 社員旅行の費用を負担した

社員 10 名分の社員旅行の費用 130,000 円を全額負担し、現金で支払った。

A 福利厚生費 130,000 現金 130,000

? 社員の結婚祝い金を贈呈した

社員の結婚祝い金を 20,000 円支給した。

A 福利厚生費 20,000 現金 20,000

? コピー機のメンテナンスを行った

コピー機のメンテナンスを行い、メンテナンス料 25,000 円を現金で支払った。

A 修繕費 25,000 現金 25,000

? 火災保険を契約した

火災保険を契約し、1 年分の保険料 240,000 円を現金で支払った。

A 支払保険料 240,000 現金 240,000

? 同業者団体の年会費を支払った

同業者団体の年会費 20,000 円を小切手で支払った。

A 諸会費 20,000 当座預金 20,000



・決算に関する仕訳

●棚卸

? 期末に商品の棚卸を行った

期末に棚卸を行い、商品の在庫が 200,000 円。期首の商品在庫は 180,000 円。

A	期首商品棚卸高	180,000	商品	180,000
	商品	200,000	期末商品棚卸高	200,000

? 期末に製品の棚卸を行った

期末に棚卸を行い、製品の在庫が 200,000 円。期首の製品在庫は 180,000 円。

A	期首製品棚卸高	180,000	製品	180,000
	製品	200,000	期末製品棚卸高	200,000

●引当金の計上

? 期末に貸倒引当金を計上した

期末に貸倒引当金 55,000 円を計上した。

A	貸倒引当金繰入	55,000	貸倒引当金	55,000
----------	---------	--------	-------	--------

●減価償却費の計上

? 期末に機械装置の減価償却費を計上した(直接法)

期末(3月末)に11月購入の機械装置 1,000,000 円の減価償却費を定額法で計上した。
(耐用年数8年、償却率 0.125)

A	減価償却費	46,875	機械装置	46,875
★	$1,000,000 \times 0.9 \times 0.125 \times 5/12 = 46,875$			

● 利益処分



? 株主総会で利益処分を決議した

株主総会で、利益処分を次のとおり決議した。未処分利益 1,000,000 円、配当金 500,000 円、利益準備金 170,000 円、任意積立金 200,000 円。

A	未処分利益	1,000,000	未払配当金	500,000
			利益準備金	170,000
			任意積立金	200,000
			前期繰越利益	130,000

? 利益準備金を資本金に組み入れた

利益準備金 1,000,000 円を資本金に組み入れた。

A	利益準備金	1,000,000	資本金	1,000,000
----------	-------	-----------	-----	-----------

? 取締役会の決議により中間配当を行った

取締役会の決議により中間配当 2,000,000 円を行い、これに伴う利益準備金積立額は 200,000 円であった。

A	中間配当金	2,000,000	未払配当金	2,000,000
	利益準備金積立額	200,000	利益準備金	200,000

? 株主配当金を受け取った

株主配当金 100,000 円のうち、源泉所得税 20,000 円が控除され当座預金に入金。

A	当座預金	80,000	受取配当金	100,000
	法人税等	20,000		

●消費税・法人税

? 決算の結果、納付消費税額が判明した

決算の結果、納付消費税は 80,000 円だった。仮払消費税は 300,000 円、仮受消費税は 380,500 円、課税売上割合は 95%以上である。

・税抜経理の場合

A	仮受消費税	380,500	仮払消費税	300,000
			未払消費税	80,000
			雑収入	500

? 消費税額を納付した

消費税額 90,000 円を小切手で納付した。

・未払消費税を計上した場合

A 未払消費税 90,000 当座預金 90,000

**?** 前期決算分の法人税と住民税、事業税を納付した

法人税 600,000 円、住民税 100,000 円、事業税 80,000 円を現金で納付した。

A 未払法人税等 780,000 現金 780,000

●その他

? 3年契約の保険料のうち、決算日において契約後6ヶ月が経過した

3年契約の火災保険料 120,000 円のうち、期末時点で契約後6ヶ月が経過した。

A 前払費用 40,000 支払保険料 100,000
 長期前払費用 60,000

・前払費用のうち、決算日の翌日から1年を超える前払いは「長期前払費用」で処理。

? 前受家賃がある

決算時に翌月分の家賃 180,000 円が含まれていた。

A 受取家賃 180,000 前受収益 180,000



? 決算にあたり、借入金に対する当期分の利息を計上した

決算にあたり借入金に対する当期分の利息 30,000 円を計上した

●期末

A 支払利息・割引料 30,000 未払費用 30,000

●期首

A 未払費用 30,000 支払利息・割引料 30,000



③ 銀行から資金を借り入れた（1年を超える場合）

A 当座預金 8,000,000 長期借入金 8,000,000

A	長期借入金	80,000	当座預金	87,000
	支払利息・割引料	7,000		

A

長期借入金	800,000	当座預金	800,000
当座預金	8,000	支払利息	8,000

A 長期貸付金 3,000,000 当座預金 3,000,000

A 短期貸付金 1,000,000 当座預金 980,000
受取利息 20,000



4. 科目から仕訳を見よう

①貸借対照表の科目

資産の部

【流動資産】

・現金、当座預金、普通預金、定期預金



- (1) 現金 → 硬貨や紙幣などの通貨、他社振出の小切手、送金小切手、預金手形、郵便為替証書、配当金領収書、外貨などを処理。

注意！！

- ① 先日付小切手（実際の振出日より小切手上の振出日の方が先の日付の小切手）は、小切手の振出日まで受取手形として処理。
 ②切手や、テレホンカードは通信費で処理。③収入印紙は租税公課で処理。
 ④高速券や電車の回数券は旅費交通費で処理。

? 切手と収入印紙を現金で購入した

切手 5,000 円分と収入印紙 10,000 円を現金で購入した。

A	通信費	5,000	現金	15,000
	租税公課	10,000		

- (2) 当座預金 → 金融機関との当座取引契約に基づく預金、小切手を振り出して支払う無利息の預金のこと。

? 商品を仕入れ、小切手を振り出して支払った

B社から商品 70,000 円を仕入れ、小切手を振り出して支払った。

A	仕入高	70,000	当座預金	70,000
----------	-----	--------	------	--------

- (3) 普通預金 → 一般的に使用される預金口座のこと

? 現金を普通預金に預け入れた

現金 100,000 円を普通預金に預け入れた。

A	普通預金	100,000	現金	100,000
----------	------	---------	----	---------

- (4) 定期預金 → 金融機関との定期預金契約に基づく預金。

? 普通預金を定期預金に振り替えた

普通預金 2,000,000 円を定期預金に振り替えた。

A	定期預金	2,000,000	普通預金	2,000,000
----------	------	-----------	------	-----------



・受取手形、売掛金、有価証券、未収入金

- (1) 受取手形 → 通常の営業取引により受け取った約束手形や為替手形などの手形債権のこと。例えば、商品の売上代金や売掛金を手形で受け取った場合や、先日付小切手を受け取った場合に使用。

? 売掛代金を裏書手形で回収した

得意先A社の売掛金 350,000 円をC社発行、A社裏書きの約束手形で回収した。

A 受取手形 300,000 売掛金 300,000

- (2) 売掛金 → 商品や製品の売上による売上代金の未入金など、営業上の債権。

? 売掛金が入金された

売掛金 120,000 円が振込手数料 735 円を差し引かれ、当座預金に入金された。

A 当座預金 119,265 売掛金 120,000
 支払手数料 735

- (3) 有価証券（法人） → 株券、国債、地方債、社債などの証券のこと。

注意！！小切手は現金、手形は受取手形で処理。

? 有価証券を購入した

国債 100,000 円を購入し、手数料 3,000 円とともに現金で支払った。

A 有価証券 103,000 現金 103,000

- (4) 未収入金 → 固定資産や有価証券の売却など、本来の営業取引以外の取引から生じた債権。

? 建物を売却した

建物（帳簿価額 4,100,000 円、直接法）を 4,000,000 円で売却。

A 未収入金 4,000,000 建物 4,100,000
 固定資産売却損 100,000

・商品、原材料、貯蔵品、製品、仕掛品



- (1) 商品 → 期末に棚卸を行い商品の有高の計上に使用。商品とは、販売業を営む企業の営業目的にかかわるもの。

? 期末に商品の棚卸を行った

期末に棚卸を行い、商品の在庫が 300,000 円。期首の商品在庫は 210,000 円。

A	期首商品棚卸高	210,000	商品	210,000
	商品	300,000	期末商品棚卸高	300,000

- (2) 原材料 → 期末に棚卸を行い原材料の有高の計上に使用。原材料とは、製品の製造を目的として外部から買い入れた物品で、消費されていないもの。

? 期末に原材料の棚卸を行った

期末に棚卸を行い原材料の在庫が 300,000 円。期首の原材料の在庫は 210,000 円。

A	期首原材料棚卸高	210,000	原材料	210,000
	原材料	300,000	期末原材料棚卸高	300,000

- (3) 貯蔵品 → 切手や収入印紙などで、決算時に未使用分を資産計上する場合に使用。

? 決算時に未使用の収入印紙を貯蔵品に計上

決算時に未使用の収入印紙 20,000 円を貯蔵品に計上した。

A	貯蔵品	20,000	通信費	20,000
----------	-----	--------	-----	--------

- (4) 製品 → 期末に棚卸を行い製品の有高の計上に使用。製品とは、工業（製造業）を営む企業が販売することを目的として自ら製造した物品。

? 期末に製品の棚卸を行った

期末に棚卸を行い、製品の在庫が 300,000 円。期首の製品在庫は 210,000 円。

A	期首製品棚卸高	210,000	製品	210,000
	製品	300,000	期末製品棚卸高	300,000

- (1) 仕掛品 → 期末に棚卸を行い仕掛品の有高の計上に使用。仕掛品とは、製品の製造のため仕掛中のもの。

? 期末に仕掛品の棚卸を行った

期末に棚卸を行い、仕掛品の在庫が 300,000 円。期首の仕掛品在庫は 210,000 円。

A	期首仕掛品棚卸高	210,000	仕掛品	210,000
	仕掛品	300,000	期末仕掛品棚卸高	300,000



・前渡金、短期貸付金、仮払金、仮払消費税

(1) 前渡金 → 商品や原材料の仕入などに際して、代金の一部または全額を前払いした場合に使用。

? 商品を注文して、代金の一部を支払い、残りを掛とした
500,000 円の商品を注文し、100,000 円を小切手で支払い、残りを掛とした。

A

仕入高	500,000	前渡金	100,000
		買掛金	400,000

(2) 短期貸付金 → 得意先や仕入先、従業員、役員に対する貸付金のうち、決算日の翌日から1年以内に返済されるもの。

注意!! 決算日の翌日から1年を超えて返済される場合は長期貸付金で処理。

? 取引先に現金を貸し付けた。返済日は翌月末日である。
取引先に現金 300,000 円を貸し付けた。返済日は翌月末日である。

A

短期貸付金	300,000	現金	300,000
-------	---------	----	---------

(3) 仮払金 → 現金の支出はあったが、相手勘定科目や金額が確定していない場合に一時的に処理。例えば、出張の仮払いや交際費の仮払いなどに使用。

? 出張のための仮払いを行った
従業員の出張のため、30,000 円を仮払いした。

A

仮払金	30,000	現金	30,000
-----	--------	----	--------

(4) 仮払消費税 → 消費税の課税事業者のうち、税抜で記帳している場合に使用する科目。期末に仮払消費税と仮受消費税との差額を申告、納付。

? 商品を掛で仕入れた
商品 80,000 円を掛けて仕入れた。

A

仕入高	80,000	買掛金	84,000
仮払消費税	4,000		

・前払費用、立替金、貸倒引当金



- (1) 前払費用 → 当期に支払った費用のうち、未経過の支払利息や保険料など、翌期以降の前払分をいう。

注意！！決算日の翌日から1年を超える前払いは長期前払費用で処理。

- ？ 3年契約の保険料のうち、決算日において契約後6ヶ月が経過した
3年契約の火災保険料 120,000 円のうち、期末時点で契約後6ヶ月が経過した。

A 前払費用 40,000 支払保険料 100,000
 長期前払費用 60,000

- (2) 立替金 → 取引先や従業員などに一時的に金銭の立替払いをした場合に使用。

- ？ 得意先の旅費を立て替えた
得意先の旅費 40,000 円を立て替えた。

A 立替金 40,000 現金 40,000

- (3) 貸倒引当金 → 売掛金や受取手形、貸付金などの債権の貸倒れに備え、決算日にこれらの債権の貸倒れの見積額を費用計上した場合に使用。

- ？ 期末に貸倒引当金を計上した
期末に貸倒引当金 55,000 円を計上した。

A 貸倒引当金繰入 55,000 貸倒引当金 55,000

- ？ 期末に前期に計上した貸倒引当金を戻し入れた
期末に前期に計上した貸倒引当金 300,000 円を戻し入れた。

A 貸倒引当金 300,000 貸倒引当金戻入益 300,000

【固定資産】



・建物、建物附属設備、構築物、機械装置

(1) 建物 → 店舗や事務所、倉庫、工場、車庫などの建物のこと。

？ 建物を売却した

建物（帳簿価額 3,000,000 円、直接法）を 3,200,000 円で売却し、小切手で受け取った。

A	現金	3,200,000	建物	3,000,000
			固定資産売却益	200,000

(2) 建物附属設備 → 建物附属設備（電気設備や給排水設備、冷暖房装置、自動ドアなど）のこと。

？ 建物に冷暖房装置を取り付けた

書類倉庫となっている建物に冷暖房装置を取り付け、代金 500,000 円を小切手で支払った。

A	建物附属設備	500,000	当座預金	500,000
----------	--------	---------	------	---------

(3) 構築物 → へいや煙突、橋、広告塔など、土地の上に固定した建物以外の土木設備や工作物のことです。

？ へいを建設した

へいを 800,000 円で建設した。代金は月末に支払う。

A	構築物	800,000	未払金	800,000
----------	-----	---------	-----	---------

(4) 機械装置 → 機械や装置、これらに附属するベルトコンベヤーなどの搬送設備、その他の設備をいう。また、機械装置には、ブルドーザーやシャベルカーが含まれる。

？ 10 万円未満の機械を購入した

70,000 円の機械を購入して、現金で支払った。

A	消耗品費	70,000	現金	70,000
----------	------	--------	----	--------

？ 機械のメンテナンスを行った

機械のメンテナンスを行い、メンテナンス料 20,000 円を現金で支払った。

A	修繕費	20,000	現金	20,000
----------	-----	--------	----	--------

・車両運搬具、工具器具備品、土地、建設仮勘定



- (1) 車両運搬具 → 乗用車やトラック、オートバイ、フォークリフトなどの陸上運搬車輛。また、カーエアコンやカーステレオなども車輛運搬具に含まれるが、ブルドーザーやシャベルカーなどは機械装置で処理。

? 営業車を購入した

営業車 1,500,000 円を購入し、本日から使用を開始した。代金は翌月末に支払う。

A 車両運搬具 1,500,000 未払金 1,500,000

- (2) 工具器具備品 → 工具や応接セット、机、コピー機、ファックス、パソコン、電気冷蔵庫などの器具および備品。取得価額が10万円未満の場合は、消耗品費で処理。

? 応接セットを購入した

応接セットを 300,000 円で購入し、配送料金 20,000 円とともに現金支払。

A 工具器具備品 320,000 現金 320,000

? 机を購入した (10 万未満)

事務用机 60,000 円を購入し、現金で支払った。

A 消耗品費 60,000 現金 60,000

- (3) 土地 → 店舗や事務所などの敷地、資材置場や駐車場、運動場等の土地。
 ・ 土地には取得時にかかった整地費用や仲介手数料が含まれる。
 ・ 敷地内のアスファルトの舗装代は構築物で処理。

? 土地の一部を売却した

土地の一部 (帳簿価額 800,000 円) を 1,000,000 円で売却した。不動産の仲介手数料 100,000 円が差し引かれ当座預金に入金された。

A 当座預金 900,000 土地 800,000
 支払手数料 100,000 固定資産売却益 200,000

- (4) 建設仮勘定 → 建設中の有形固定資産に関する支出額を処理します。

? 社屋の建築を発注し、手付金を支払った

社屋の建築を発注し、手付金 1,000,000 円を小切手で支払った。

A 建設仮勘定 1,000,000 当座預金 1,000,000

? 建物建設に際し地鎮祭を行った

建物建設に際し、地鎮祭を行い、現金で 30,000 円支払った。

A 建設仮勘定 30,000 現金 30,000



・営業権等、電話加入権、出資金、敷金、差入保証金

- (1) 営業権等 → 暖簾(のれん)ともいわれ、企業の継続的な経営によってつちかわれた得意先関係や仕入先関係、法律的特権等、企業内外の諸要因からなる企業の超過収益力をもたらす権利。

? タクシーナンバー権を取得した

タクシーのナンバー権を 1,000,000 円で取得し、現金で支払った。

A 営業権等 1,000,000 現金 1,000,000

- (2) 電話加入権 → 電話加入契約に基づき、加入電話の通信サービスを受ける権利。

? 電話の加入権を譲渡した

電話加入権を 60,000 円で譲渡し、現金で受け取った。

A 現金 60,000 電話加入権 70,000
 固定資産売却損 10,000

- (3) 出資金 → 有限会社や合資会社などの持分や協同組合の組合員の持分など。また、ゴルフ会員権（株主型）なども出資金に含まれる。

? 信用金庫との取引を開始し、出資金を払い込んだ

信用金庫と取引をはじめる際の出資金として 100,000 円を小切手で支払った。

A 出資金 100,000 当座預金 100,000

- (4) 敷金 → 事務所・店舗等を賃借する場合の敷金のことをいう。
 (将来返還可能なもの)

? 事務所を賃借し、敷金を支払った

事務所を賃借し、敷金 600,000 円を現金で支払った。

A 敷金 600,000 現金 600,000

- (5) 差入保証金

? 事務所を賃借し、保証金を支払った

事務所を賃借し、保証金 100,000 円を支払った。

A 差入保証金 100,000 現金 100,000



・長期貸付金、長期前払費用、創立費、開業費

(1) 長期貸付金 → 返済期日が決算日の翌日から1年を超える貸付金。

注意！！決算日の翌日から1年以内に返済されるものは短期貸付金で処理。

？取引先に2年後返済の予定で貸し付けた

取引先に2年後返済の予定で1,000,000円を貸し付けた。

A 長期貸付金 1,000,000 現金 1,000,000

(2) 長期前払費用 → 決算日の翌日から1年を超える前払いをいう。

注意！！当期に支払った費用のうち、翌期分の前払いは短期前払費用で処理

？決算に際し、長期前払費用として処理していた保険料のうち当期分を費用に振替

決算に際し、長期前払費用として処理していた2年間分保険料240,000円のうち当期に対応する120,000円分について費用に振替えた。

A 支払保険料 120,000 長期前払費用 240,000
短期前払費用 120,000

(3) 創立費 → 会社設立のためにかかった費用のうち、会社が負担すべきもの。
例えば、設立登記の登録免許税などを処理。

？会社を設立し、設立費用を支払った

会社を設立し、定款等の作成費用、設立登記の登録免許税などの設立費用1,000,000円を現金で支払った。

A 創立費 1,000,000 現金 1,000,000

(4) 開業費 → 賃借料や広告宣伝費、給料など会社設立後、営業開始までに支出した開業準備費用。

？会社を設立し、開業準備費用を支払った。

会社を設立し、開業準備費用として広告宣伝費250,000円を支払った。

A 開業費 250,000 現金 250,000

・ 開発費・試験研究費

(1) 開発費 → 新技術または新経営組織の採用、新資源の開発、新市場の開拓のために特別に支出した額。



? 新市場の開拓のため特別な支出を行った

新商品の販売を行うにあたり、新市場を開拓するため特別に市場調査費用として 1,000,000 円を現金で支払った。

A 開発費 1,000,000 現金 1,000,000

(2) 試験研究費 → 新製品または新技術の研究のために特別に支出した額

? 新製品の研究のため特別な支出を行った

新薬の研究のため、特別に研究費用として、2,000,000 円を普通預金から支払った。

A 試験研究費 2,000,000 普通預金 2,000,000



負債の部

【流動負債】

・支払手形、短期借入金、未払費用、預り金



- (1) 支払手形 → 通常の営業取引により振り出した約束手形や引き受けた為替手形などの手形債務のこと。
例えば、商品の仕入代金や買掛金の支払のために手形を振り出した場合に使用。

? 買掛金を約束手形で支払った

掛で購入した商品 200,000 円を約束手形で支払った。

A 買掛金 200,000 支払手形 200,000

- (2) 短期借入金 → 銀行や取引先、親会社などからの借入金のうち、決算日の翌日から1年以内に返済予定のもの。

注意！！決算日の翌日から1年を超えて返済する場合は長期借入金で処理

? 銀行から資金を借り入れた。返済は半年後の予定である

銀行から 1,000,000 円を借り入れ、当座預金に入金。返済は半年後の予定。

A 当座預金 1,000,000 短期借入金 1,000,000

- (3) 未払費用 → 一定の契約に従い、継続して役務の提供を受ける場合、すでに提供されている役務に対してまだその対価の支払が終わらないもの。

? 決算にあたり、給料の締め後の未払い分を計上した

当社の給料は毎月 20 日締め、月末払いで、支払日に給料賃金を計上している。

21 日から末日までの賃金は 300,000 円だった。

期末

A 給料資金 300,000 未払費用 300,000

翌期首

未払費用 300,000 給料賃金 300,000

- (4) 預り金 → 従業員から給与支払に際して預かった源泉所得税や社会保険料、取引先から一時的に預かった金額。

? 住民税を納付した

従業員の住民税の預り金 85,000 円を小切手で納付した。

A 預り金 85,000 当座預金 85,000

・未払法人税等、賞与引当金、未払消費税、買掛金



(1) 未払法人税等 → 法人税、住民税と市町村民税等、および事業税の未納税額。

? 決算に際し、法人税と住民税、事業税を計上した

決算に際し、法人税 600,000 円、住民税 100,000 円、事業税 80,000 円を計上した。

A 法人税等 780,000 未払法人税等 780,000

(2) 賞与引当金 → 次期の賞与に備え、決算日に当期負担分を計上した場合に使用。

★賞与引当金は平成 10 年度の税制改正で廃止されたが、平成 15 年迄は経過措置。

? 期末に賞与引当金を繰り入れた

期末に賞与引当金 550,000 円を繰り入れた。

A 賞与引当金繰入 550,000 賞与引当金 550,000

(3) 未払消費税 → 決算期に、当期分未払の消費税の計上に使用。

? 決算の結果、納付消費税額が判明した

決算の結果、納付消費税は 80,000 円だった。仮払消費税は 300,000 円、仮受消費税は 380,500 円、課税売上割合は 95%以上である。

A 税抜経理の場合

仮受消費税	380,500	仮払消費税	300,000
		未払消費税	80,000
		雑収入	500

(4) 買掛金 → 商品や原材料の掛仕入による仕入代金の未払金など、本来の営業取引に基づいて発生した債務。

? 商品を掛けて仕入れた

商品 150,000 円を掛けて仕入れた。

A 仕入高 100,000 買掛金 100,000

? 掛代金を銀行振込で支払った

商品の掛代金 100,000 円を当座預金から支払った。

A 買掛金 100,000 当座預金 100,000

・未払金、前受金、仮受金、未払配当金



(1) 未払金 → 固定資産や有価証券の購入など本来の営業取引以外の取引から生じる債務。

? 自動車を購入し、頭金を支払い、残額は翌月払いとした
自動車 950,000 円を購入し、頭金 200,000 円を現金で支払、残額は翌月払い。

A

車両運搬具	950,000	現金	200,000
		未払金	750,000

(2) 前受金 → 商品や製品などの売上などに際して、代金の一部または全額を事前に受け取った場合に使用。

? 商品の販売にあたり、手付金を受け取った
商品 300,000 円の販売にあたり、手付金 100,000 円を現金で受け取った。

A

現金	100,000	前受金	100,000
----	---------	-----	---------

(3) 仮受金 → 現金の受け入れはあったが、相手勘定科目または金額が確定していない場合に使用。

? 内容不明の当座振込があった
出張中の従業員から、500,000 円の内容不明の当座振込があった。

A

当座預金	500,000	仮受金	500,000
------	---------	-----	---------

(4) 未払配当金 → 株主総会の決議によって行われる利益処分の利益配当を未払配当金として処理。

? 株主総会で利益処分を決議した
株主総会で利益処分を次のとおり決議した。未処分利益 1,000,000 円、配当金 500,000 円、利益準備金 170,000 円、任意積立金 200,000 円。

A

未処分利益	1,000,000	未払配当金	500,000
		利益準備金	170,000
		任意積立金	200,000

? 取締役会の決議により中間配当を行った
取締役会の決議により中間配当 2,000,000 円を行い、これに伴う利益準備金積立額は 200,000 円であった。

A

中間配当金	2,000,000	未払配当金	2,000,000
利益準備金積立額	200,000	利益準備金	200,000



・割引手形、仮受消費税

(1) 割引手形 → 手形を満期日より前に金融機関で現金化した時に使用。この場合、利息に相当する手数料を差し引かれた残額を受け取ることになる。

? 受取手形を割り引いた

受取手形 500,000 円を割引し、割引料 10,000 円が引かれ当座預金に入金された。

A	当座預金	490,000	現金	500,000
	支払利息・割引料	10,000		

? 割り引いた受取手形が決裁された

割り引いた受取手形 500,000 円が決裁された。

A	割引手形	500,000	受取手形	500,000
----------	------	---------	------	---------

(2) 仮受消費税 → 消費税の課税事業者のうち、税抜で記帳している場合に使用する科目。期末に仮払消費税と仮受消費税との差額を申告、納付する。

? 決算の結果、納付消費税額が判明した

決算の結果、納付消費税は 80,000 円だった。仮払消費税は 300,000 円、仮受消費税は 380,500 円、課税売上割合は 95%以上である。

A 税抜経理の場合

仮受消費税	380,500	仮払消費税	300,000
		未払消費税	80,000
		雑収入	500



【固定負債】

・長期借入金

→返済期限が決算日の翌日から1年を超える借入金。



注意！！決算日の翌日から1年以内に返済するものは短期借入金で処理

？ 銀行から3年以内後返済の予定で資金を借り入れた

土地を担保に3年後返済の予定で、銀行から7,500,000円を借り入れ、当座預金に入金した。

A 当座預金 7,500,000 長期借入金 7,500,000

資本の部

【資本金】

・資本金

→株主などの出資者から出資してもらった金額のうち、法定資本の額。

？ 株式を発行し、増資した

新しく株式を発行し、増資した。発行価額は2,200,000円である。

A 当座預金 2,200,000 資本金 2,200,000

【法定準備金】

・資本準備金、利益準備金

(1) 資本準備金 → 商法により積み立てなければならない金額で法定準備金の1つ。資本準備金には株式払込剰余金、減資差益、合併差益の3つがある。

？ 新しく株式を発行し、増資した

新しく株式を発行し、増資した。発行価額は2,000,000円、うち1,000,000円は資本準備金に計上した。

A 当座預金 2,000,000 資本金 1,000,000
資本準備金 1,000,000

(2) 利益準備金 → 商法により積み立てなければならない金額で法定準備金の1つ。会社は資本金の1/4に達するまで、利益処分として支出する金額（配当金と役員賞与の合計額）の10%以上を(中間配当金の場合は10%)、利益準備金として積み立てる必要がある。

？ 株主総会で利益処分を決議した

株主総会で、利益処分を次のとおり決議した。未処分利益1,000,000円、配当金500,000円、利益準備金170,000円、任意積立金200,000円。

A 未処分利益 (★後述) 1,000,000 未払配当金 500,000
利益準備金 170,000
任意積立金 (★後述) 200,000
前期繰越利益 (★後述) 130,000

【剰余金】

・任意積立金、前期繰越利益、未処分利益



- (1) 任意積立金 → 株主総会の利益処分決議によって積み立てられた留保利益のうち、利益準備金以外のもの。目的、限度額などを任意に設定し、積み立てることができる。
- (2) 前期繰越利益 → 前期の利益処分により繰越された未処分利益。
- (3) 未処分利益 → 未処分利益の利益処分をする際に使用。

? 株主総会で利益処分を決議した

株主総会で、利益処分を次のとおり決議した。未処分利益 1,000,000 円、配当金 450,000 円、利益準備金 150,000 円、任意積立金 250,000 円。

A 未処分利益	1,000,000	払配当金	450,000
		利益準備金	150,000
		任意積立金	250,000
		前期繰越利益	150,000

貸借対照表の科目は
終わりです。OK?



②損益計算書の科目

経常(営業)損益

【売上高】

・売上高、売上値引



(1) 売上高 → 商品や製品の販売、サービスの提供など、会社の主たる営業活動によって獲得した収益。

? 商品の販売にあたり、手付金を受け取った

商品 300,000 円の販売にあたり、手付金 100,000 円を現金で受け取った。

A 現金 100,000 前受金 100,000

? 上記の商品を販売した

上記の商品 300,000 円を掛けて販売した。

A 売掛金 200,000 売上高 300,000
 前受金 100,000

(2) 売上値引 → 販売した商品や製品が、品違い、損傷などの理由により代金を値引きする場合に使用。

? 商品が一部破損していたため、値引きした

掛けて販売した商品が一部破損していたため、5,000 円値引きした。

A 売上値引 5,000 売掛金 5,000



【売上原価】

・ 期首商品棚卸高、期首製品棚卸高、仕入高

(1) 期首商品棚卸高 → 前期から繰越された商品。損益計算書で売上原価の計算に使用。

？ 期末に棚卸を行った

期末に棚卸を行い、商品の在庫が 350,000 円。期首の商品在庫は 170,000 円。

A	期首商品棚卸高	170,000	商品	170,000
	商品	350,000	期末商品棚卸高	350,000

(2) 期首製品棚卸高 → 前期から繰越された製品。損益計算書で売上原価の計算に使用。

？ 期末に棚卸を行った

期末に棚卸を行い、製品の在庫が 200,000 円。期首の製品在庫は 180,000 円。

A	期首製品棚卸高	180,000	製品	180,000
	製品	200,000	期末製品棚卸高	200,000

(3) 仕入高 → 商品の仕入など、会社の主たる営業活動によって発生した費用。

？ 商品を注文し、代金の一部を支払った

商品を注文し、代金の一部 1,500,000 円を手形で支払った。

A	前渡金	1,500,000	支払手形	1,500,000
----------	-----	-----------	------	-----------

？ 上記の商品を受け入れ、残額を支払った

商品 2,000,000 円を受け入れ、残額 500,000 を支払手形で支払った。

A	仕入高	2,000,000	前渡金	1,500,000
			支払手形	500,000

・仕入値引、期末商品棚卸高、期末製品棚卸高



(1) 仕入値引 → 仕入れた商品の損傷、不足などの理由により代金の値引きを受ける場合に使用。

? 仕入れた商品に破損があったため、値引きを受けた
掛で仕入れた商品に破損があったため、10,000 円値引きを受けた。

A 買掛金 10,000 仕入値引 10,000

(2) 期末商品棚卸高 → 期末に商品の棚卸残高の計上に使用。損益計算書で売上原価の控除科目。

? 期末に棚卸を行った
期末に棚卸を行い、製品の在庫が 330,000 円。期首の製品在庫は 300,000 円。

A 期首商品棚卸高 300,000 商品 300,000
商品 330,000 期末商品棚卸高 330,000

(3) 期末製品棚卸高 → 期末に製品の棚卸残高の計上に使用。損益計算書で売上原価の控除科目。

? 期末に棚卸を行った
期末に棚卸を行い、製品の在庫が 330,000 円、期首の製品在庫は 300,000 円。

A 期首製品棚卸高 300,000 製品 300,000
製品 330,000 期末製品棚卸高 330,000



【販管費】

・役員報酬、給料手当、雑給、賞与



- (1) 役員報酬 → 役員に対する給与のうち、賞与や退職金以外の
もので、定期的に支給されるもの。

？ 社長に給与を支払った

役員の給与 1,000,000 円を所得税 100,000 円、住民税 80,000 円、健康保険料 30,000 円、厚生年金保険料 50,000 円控除して当座預金から支払った。

A	役員報酬	1,000,000	普通預金	740,000
			預り金（所得税）	100,000
			預り金（住民税）	80,000
			預り金（健康保険料）	30,000
			預り金（厚生年金保険料）	50,000
			預り金（雇用保険料）	20,000

- (2) 給料手当 → 従業員に対して支払う給料および手当。手当には
残業手当、住宅手当、役職手当などがある。

？ 従業員に給与を支給した

従業員の給与 1,000,000 円を所得税 100,000 円、住民税 80,000 円、雇用保険料 20,000 円、健康保険料 30,000 円、厚生年金保険料 50,000 円を控除して当座預金から支払った。

A	給料賃金	1,000,000	普通預金	720,000
			預り金（所得税）	100,000
			預り金（住民税）	80,000
			預り金（健康保険料）	30,000
			預り金（厚生年金保険料）	50,000
			預り金（雇用保険料）	20,000

- (3) 雑給 → アルバイトやパートに支給する給与のこと。

？ 日給のアルバイトに給与を支給した

日給 9,000 円のアルバイトに給与を現金支給した。

A	雑給	9,000	現金	9,000
----------	----	-------	----	-------

- (4) 賞与 → 毎月の給与の他に定期的または臨時的に支払われるもの。

？ 従業員に賞与を支払った

従業員に賞与 1,000,000 円を預り金 100,000 円を控除して当座預金から支払った。

A	賞与	1,000,000	当座預金	900,000
			預り金	100,000

・退職金、法定福利費、福利厚生費、外注加工費



(1) 退職金 → 従業員や役員の退職により一時的に支払う慰労金や退職年金のこと。

? 従業員に退職金を支払った

3年以上勤務した従業員に退職金 1,000,000 円を現金で支払った。

A 退職金 1,000,000 現金 1,000,000

(2) 法定福利費 → 労働基準法、労働者災害補償保険法、厚生年金保険法、雇用保険法等の法律に基づき会社が負担すべき保険料。

? 社会保険料を納付した

健康保険料と厚生年金保険料を、本人預り分 100,000 円と事業主負担分 100,000 円を合わせて小切手で支払った。

A 預り金 100,000 当座預金 200,000
 法定福利費 100,000

(3) 福利厚生費 → 従業員の福利厚生のための費用。

? 社員に夕食を出した

残業している社員に夕食 3,000 円を出し、現金で支払った。

A 福利厚生費 3,000 現金 3,000

? 社員の定期健康診断を行った

社員の定期健康診断を行い、検診費用 25,000 円を現金で支払った。

A 福利厚生費 25,000 現金 25,000

(4) 外注加工費 → 外部に材料等を提供し、加工依頼した場合に発生した費用。

? 外注に依頼した加工が終了し納品された

外部に依頼していた加工商品が納品され、加工賃 100,000 円は現金で支払った。

A 外注加工費 100,000 現金 100,000



・旅費交通費、通信費、接待交際費、減価償却費

- (1) 旅費交通費 → 会社の業務遂行のための出張旅費、電車代、バス代等。

? 出張の精算を行った

出張の電車賃 10,000 円と日当 3,000 円を現金で支払った。

A 旅費交通費 13,000 現金 13,000

- (2) 通信費 → 電話代、郵便切手、パソコン通信などに要した費用。

? 切手を購入した

切手 5,000 円分を購入し、現金で支払った。

A 通信費 5,000 現金 5,000

- (3) 接待交際費 → 取引先など事業に関係がある者に対する接待、贈答などのために支出する費用。

? 得意先のパーティに招待され、祝金を支払った

得意先の新社屋完成パーティに招待され、祝金 50,000 円を現金で支払った。

A 接待交通費 50,000 現金 50,000

? 得意先とゴルフのコンペを行った

得意先とゴルフのコンペを行い、現金 180,000 円を支払った。

A 接待交通費 180,000 現金 180,000

- (4) 減価償却費 → 減価償却によって、固定資産の取得価額を各年度に配分したもの。

? 期末に機械装置の減価償却費を計上した(直接法)

期末(3 月末)に 11 月購入の機械装置 1,000,000 円の減価償却費を定額法で計上した。(耐用年数 8 年、償却率 0.125)。

A 減価償却費 46,875 機械装置 46,875

★1,000,000 × 0.9 × 0.125 × 5 / 12 = 46,875



・地代家賃、支払保険料、修繕費、水道光熱費

(1) 地代家賃 → 家賃支払や、地代の支払い、月極駐車場などの不動産の支払。

? 月極の駐車場代を現金で支払った
月極駐車場代 25,000 円を現金で支払った。

A 地代家賃 25,000 現金 25,000

(2) 支払保険料 → 生命保険の保険料や、火災保険など損害保険の保険料。

? 会社を受取人とする定期保険を契約した
会社を受取人とする定期保険を契約し、保険料 50,000 円を小切手で支払った。

A 支払保険料 50,000 当座預金 50,000

(3) 修繕費 → 建物や機械などの有形固定資産の機能を維持、補修するために支出する費用。例えば、機械の部品交換代、自動車の点検整備代、OA機器の保守費用などに使用。

? コピー機のメンテナンスを行った
コピー機のメンテナンスを行い、メンテナンス料 25,000 円を現金で支払った。

A 修繕費 25,000 現金 25,000

(4) 水道光熱費 → 水道代やガス代、電気代、燃料代（灯油など）。

? 電気代、水道代が引き落とされた
普通預金から電気代 10,000 円、水道代 10,000 円が普通預金から引き落とされた。

A 水道光熱費 20,000 普通預金 20,000

・消耗品費、租税公課、荷造運賃、事務用品費



- (1) 消耗品費 → 使用可能期間が1年未満または取得価額が10万円未満の工具器具備品や車両運搬具を処理。例えば、電球、洗剤、トイレトペーパーなどに使用。

? 掃除用洗剤を購入

掃除用洗剤 500 円を購入し、現金で支払った。

A 消耗品費 500 現金 500

- (2) 租税公課 → 国税や地方税、国や地方公共団体からの租税以外の賦課金。

? 自動車税を支払った

自動車税 45,000 円を現金で支払った。

A 租税公課 45,000 現金 45,000

? 固定資産税の第一期納期分を支払った

固定資産税の第一期納期分 60,000 円を現金で支払った。

A 租税公課 60,000 現金 60,000

- (3) 荷造運賃 → 商品や製品を荷造りし発送するために要した費用。

? 荷物を宅配便で発送した

荷物を宅配便 680 円で発送した。宅配便料金は現金で支払った。

A 荷造運賃 680 現金 680

- (4) 事務用品費 → ノートやボールペン、ファイルなどの事務用品、コピー用紙やFAX用紙のOA用品などを処理。

? 事務用品を購入した

ノートとボールペンを全部で 5,000 円購入し、現金で支払った。

A 事務用品費 5,000 現金 5,000

・ 広告宣伝費、支払手数料、諸会費、新聞図書費



- (1) 広告宣伝費 → 不特定多数の人を対象として行う商品や製品の広告、求人広告、会社やお店の広告などのために支出する費用。

? 求人広告の掲載料を支払った

求人広告の掲載料 100,000 円を現金で支払った。

A 広告宣伝費 100,000 現金 100,000

- (2) 支払手数料 → 振込手数料や為替手数料、F B利用料などの各種銀行手数料、カード手数料、代理店手数料などを処理。

? 売掛金が入金された

売掛金 300,000 円が、振込手数料 735 円を差し引かれ当座預金に入金された。

A 当座預金 299,265 現金 300,000
 支払手数料 735

- (3) 諸会費 → 同業者団体、法人会、商工会議所、町内会などの会費。

? 町内会の年会費を支払った

町内会の年会費 36,000 円を現金で支払った。

A 諸会費 36,000 現金 36,000

- (4) 新聞図書費 → 新聞や雑誌、書籍などの購入費用。

? 業界誌を購入した

業界誌 1,800 円を購入して、現金で支払った。

A 新聞図書費 1,800 現金 1,800

(1) 貸倒引当金繰入 → 売掛金や受取手形、貸付金などの債権の貸倒れに備え、決算日にこれら債権の貸倒れ見積額に対する繰入をすること。

決算にあたり、貸倒引当金 55,000 円を計上した。

(2) リース料 → 機械やコピー機、FAX、パソコンなどのリース料を処理。

コピー機を月 15,000 円、3 年契約で導入、1 回目のリース料を現金で支払った。

(3) 車両費 → 自動車にかかる諸経費（ガソリンやオイル交換代、車検費用など）を処理。

ガソリン代 4,000 円を現金で支払った。

(4) 会議費 → 会社の業務に関連して、社内外で行われる商談、打ち合わせなどの会議のための費用。

営業戦略会議のコーヒー代 5,000 円を現金で支払った。

(5) 支払報酬 → 公認会計士や税理士、弁護士等に支払う報酬を処理。

ヤマダ総合会計に今月の会計顧問料 30,000 円を源泉所得税を差し引き普通預金で支払

— 46 —

・寄附金、賞与引当金繰入、貸倒損失、雑費



(1) 寄附金 → 会社の事業の遂行に関係しない資産の贈与や経済的利益の供与。

? 神社に寄付した

神社に 10,000 円を寄付した。

A 寄附金 10,000 現金 10,000

(2) 賞与引当金繰入 → 次期賞与に備え、決算日に当期負担分を計上した場合に使用。

★賞与引当金は平成 10 年度の税制改正で廃止されたが、平成 15 年まで経過措置。

? 期末に賞与引当金を繰り入れた

期末に賞与引当金 500,000 円を繰り入れた。

A 賞与引当金繰入 500,000 賞与引当金 500,000

(3) 貸倒損失 → 売掛金や受取手形、貸付金、未収金、前渡金などの債権の回収不能による損失額。

? 売掛金が貸倒れになった

A 社の売掛金 150,000 円が貸倒れになった。

A 貸倒損失 150,000 売掛金 150,000

(4) 雑費 → 科目的にも金額的にも重要性が乏しいと思われる多くの項目をまとめて処理するために使用。

? 生け花を購入した

会社に飾る生け花を 1,300 円で購入した。

A 雑費 1,300 現金 1,300

・仕入割引、雑収入



(1) 仕入割引 → 買掛金を期日前に支払った場合の代金の値引額。

? 手形で支払う契約だったが、現金で支払、割引きを受けた
仕入代金 500,000 円を資金に余裕が出たので、2%の割引を受け現金で支払った。

A

買掛金	500,000	現金	490,000
		仕入割引	10,000

(2) 雑収入 → 営業外収益のうち科目的にも金銭的にも重要性が乏しいと思われる多くの項目を処理するために使用。

? 作業くずを売却した
作業くずを 10,000 円で売却し、代金を現金で受け取った。

A

現金	10,000	雑収入	10,000
----	--------	-----	--------



【営業外費用】

・支払利息・割引料、売上割引、為替差損、雑損失



(1) 支払利息・割引料 → 銀行等からの借入金に対する利息、手形を銀行等で割り引いた際の割引料等処理。

? 機械を分割払いで購入した

機械 1,000,000 円を 10 回分割払いで購入し手形で支払った。利息は 100,000 円。

A	機械装置	1,000,000	支払手形	1,100,000
	支払利息・割引料	100,000		

(2) 売上割引 → 売掛金を早期に回収できた場合の代金の割引額。

? 支払条件が手形の得意先の掛代金を割り引いて小切手で回収した

120 日後に手形支払いの約束だった売掛金 500,000 円を 2 % 割り引いて小切手で回収し、当座預金に入金した。

A	売上割引	10,000	売掛金	500,000
	当座預金	490,000		

(3) 為替差損 → 外国通貨または外貨建債権債務について、円貨への換算時に為替相場の変動により生じた差損。

? カナダの得意先から売掛金を回収、販売時より為替レートが円安

カナダの得意先から売掛金 3,000 ドルを小切手で回収した。販売時の為替レートは 1 CAN \$ = 100 円、本日は 1 CAN \$ = 98 円である。

A	現金	294,000	売掛金	300,000
	為替差損	6,000		

(4) 雑損失 → 営業外費用のうち科目的にも金銭的にも重要性が乏しいと思われる多くの項目をまとめて処理するために使用。

? 期末に現金の不足がある

原因不明のまま現金過不足勘定に借方残高 500 円で決算期を迎えた。

A	雑損失	500	現金過不足	500
----------	-----	-----	-------	-----



特別損益

【特別利益】

・固定資産売却益、貸倒引当金戻入益、賞与引当金戻入益

- (1) 固定資産売却益 → 土地や建物、車両運搬具などの固定資産の売却によって生じた利益。売却価額が売却時の帳簿価額を超える場合の超過部分のこと。

? 建物を売却した

建物（帳簿価額 400,000 円、直接法）の建物を 480,000 円で売却し、当座預金に入金された。

A	当座預金	480,000	建物	400,000
			固定資産売却益	80,000

- (2) 貸倒引当金戻入益 → 前期に設定した貸倒引当金を当期に取り崩して収益に計上する場合に使用。

? 決算時に前期に計上した貸倒引当金を戻し入れた

決算期に前期に計上した貸倒引当金 300,000 円を戻し入れた。

A	貸倒引当金	300,000	貸倒引当金戻入益	300,000
----------	-------	---------	----------	---------

- (3) 賞与引当金戻入益 → 前期に設定した賞与引当金を当期に取り崩して収益に計上する場合に使用。

? 期末に前期に計上した賞与引当金 300,000 円を戻し入れた

期末に前期に計上した賞与引当金 300,000 円を戻し入れた。

A	賞与引当金	300,000	賞与引当金戻入益	300,000
----------	-------	---------	----------	---------

★賞与引当金は平成 10 年度の税制改正で廃止されたが、平成 15 年まで経過措置。



【特別損失】

・固定資産売却損

→ 土地や建物、車両運搬具などの固定資産の売却によって生じた損失。売却価額が売却時の帳簿価額に満たない場合の不足部分。

? 土地の一部を売却した

土地の一部（帳簿価額 1,000,000 円）を 950,000 円で売却した。
不動産の仲介手数料 50,000 円が差し引かれ当座預金に入金された。

A	当座預金	900,000	土地	1,000,000
	固定資産売却損	50,000		
	支払手数料	50,000		

【法人税等】

・法人税等

→ 法人税、住民税、および事業税。

? 決算に際し、法人税と住民税、事業税を計上した

決算に際し、法人税 500,000 円、住民税 100,000 円、事業税 80,000 円を計上した。

A	法人税等	680,000	未払法人税等	680,000
----------	------	---------	--------	---------

? 決算後において、上記の法人税と住民税、事業税を納付した

決算後において、上記の法人税 500,000 円、住民税 100,000 円、事業税 80,000 円を現金で納付した。

A	未払法人税等	680,000	現金	680,000
----------	--------	---------	----	---------



【未処分利益増減】

・前期繰越利益、中間配当金、利益準備金積立額



(1) 前期繰越利益 → 前期の利益処分により繰り越された未処分利益。

？ 株主総会で利益処分を決議した

株主総会で、利益処分を次のとおり決議した。未処分利益 1,000,000 円、配当金 500,000 円、利益準備金 170,000 円、任意積立金 200,000 円。

A 未処分利益	1,000,000	未払配当金	500,000
		利益準備金	170,000
		任意積立金	200,000
		前期繰越利益	130,000

(2) 中間配当金 → 中間配当を行った場合に処理。1 年決算の会社は定款の定めにより、取締役会の決議に基づいて期中に 1 回に限り中間配当を行うことができる。

(3) 利益準備金積立額 → 中間配当をする場合には、資本金の 1/4 に達するまで中間配当額の 10% を利益準備金として積み立てる必要がある。利益処分では、配当金・役員賞与の合計額の 10% 以上を積み立てなければならないが、中間配当では中間配当額の 10% の積み立てが要求されている。

？ 取締役会の決議により中間配当 2,000,000 円を行った

取締役会の決議により中間配当 2,000,000 円を行い、これに伴う利益準備金積立額は 200,000 円であった。

A 中間配当金	2,000,000	未払配当金	2,000,000
利益準備金積立額	200,000	利益準備金	200,000



私の出番は終了です。
さあ、実践！！実践！！

5. 御社独自の仕訳のページ



ここからのスペースは、御社独自の仕訳や、
経理処理上の注意点などのメモにご利用下さい。
ご不明な点は、
ヤマダ総合会計の_____まで



ヤマダ総合公認会計士事務所

〒124-0012

東京都葛飾区立石1-12-11 山田ビル

TEL 03-3694-6091

FAX 03-3691-6680

MEMO



